

壁掛けテレビの壁補強システム

■大規模工事なしのテレビ壁掛けシステム

2011年の地上デジタルテレビ放送への完全移行を前に、薄型テレビの普及が進んでいる。これを追い風にテレビを壁面に設置する需要が増え、新工法「ジャストップ工法」が注目を集めている。

住宅や店舗など建築物の内装壁のほとんどは石膏ボードで、重量物を掛けるには大規模な補強工事が一般的とされている。だが、「ジャストップ工法」は、壁面に小さな穴を開け、壁補強部材（特許取得）を差し込んで壁面を裏側から補強、簡単に壁掛けテレビを実現できる一写真。

アースクリーン（川崎市宮前区）は、このビジネスプランで「第66回かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場」のかわさき起業家賞、川崎商工会議所会頭賞を受賞した。



同工法は、公立技術試験センターの荷重試験で500kg以上の負荷に耐えることを実証され、老人ホームや幼稚園の廊下、階段の手すりの固定、エアコン取り付け時の下地補強など、壁掛けテレビ用だけでなく、さまざまな壁面補強に活用されている。

価格設定は明確で、テレビの壁掛け工事は、テレビのサイズ、固定・可動に応じた料金表が用意されている。工事費込みで5万～7万円程度。賃貸物件でも、退去時に修復費用がかからず、安心という。

佐藤一芳社長は「取扱代理店を増強し、全国に『ジャストップ工法』を広めたい」と語っている。



アースクリーン 〒216-0001、川崎市宮前区野川3104。フリーダイヤル(0120)444982、ファクス044(982)5822。電子メールはinfo@justop.jp URLは<http://www.justop.jp/>

(情報提供・川崎市産業振興財団)